

## 6月4日：底値買いで上昇

5日続落を受けて市場には底値買いが入り、ホーチミン市場のVN指数は4.69ポイント(0.5%)上昇し、951.16ポイントで引けた。

しかし、流動性は大きく低下し、出来高は12%減の1億6,240万株、売買代金は26%減の3.3兆ドンとなった。プットスルー取引は堅調で5,960万株、1.2兆ドンとなった。

アメリカとメキシコ、あるいは中国の貿易戦争の高まりを受けて原油価格が月曜日に続落したにも関わらず、PVD、PVB、PLX、GASなどの原油関連株が上昇したのが注目された。

Vietstock社によると、ブレント原油先物は1.2%安の61.28ドル、WTI原油先物は0.5%安の1バレル53.25ドルとなった。

中小型株の中では、不動産会社のFLCが市場をけん引し、700万株が売買され2.2%安の4,350ドンで引けた。

ハノイ市場ではHNX指数が3日続落し、0.22%安の103.06ポイントで引けた。出来高は前日比45%減の1,720万株、売買代金は同27%減の2,220億ドンとなった。

100万株以上の出来高があったのは3銘柄のみで、PVSが0.5%高の21,500ドン、出来高は210万株となった。SHBも200万株超の出来高で前日比変わらずの7,000ドン、SHSが110万株と続いた。

多くの証券会社は今日の上昇はテクニカルな面からであり、持続的なものではないとみている。投資家は好材料が見当たらないことで消極的になっており、両取引所の商いは乏しかった。

BIDV証券は、とりわけアメリカと中国の貿易戦争の高まりから、世界経済と株式市場に不透明感がくすぶっていることで、投資家は慎重姿勢を崩していないとレポートで述べている。

投資家やアナリストは貿易戦争が世界経済の鈍化をもたらすことを懸念している。

FPT 証券は、昨日の上昇は一時的なもので今週末にかけて一層の調整も考えられると述べた。市場の見通しに改善の兆しが見られれば、短期的な回復は見込めないと同社は見ている。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。